

岡山県感染症週報 2014 年 第 25 週 (6 月 16 日～6 月 22 日)

◆2014 年 第 25 週 (6/16～6/22) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 23 週 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (50 代 男)
 第 24 週 2 類感染症 結核 2 名 (70 代 男 1 名・女 1 名)
 5 類感染症 ウイルス性肝炎 1 名 (30 代 男)
 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (60 代 男)
 第 25 週 2 類感染症 結核 6 名 (40 代 女 1 名、50 代 男 1 名、60 代 女 1 名、
 80 代 女 2 名、90 代 男 1 名)
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O26 : 50 代 女)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (50 代 男)
 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (30 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- 咽頭結膜熱は、県全体で 44 名 (定点あたり 0.76 → 0.81 人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。美作地域では、発生レベル 3 になりました。
 ○ヘルパンギーナは、県全体で 38 名 (定点あたり 0.56 → 0.70 人) の報告があり、前週より増加しました。
 ○感染性胃腸炎は、県全体で 295 名 (定点あたり 6.50 → 5.46 人) の報告があり、前週より減少しました。

【第 26 週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 3 名 (O111 : 幼児 男 1 名、O157 : 30 代 女 1 名、40 代 男 1 名) の発生がありました。(6 月 23 日)

1. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第 25 週に 1 名の報告があり、2014 年累計報告数は 11 名となりました。過去 5 年の同時期と比較して、報告患者数は少ないですが、第 26 週速報では、さらに 3 名報告されています。肉の生食は避け、中心部まで十分に火を通す、調理時は手指をこまめに洗うなど、通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。
2. [咽頭結膜熱](#)は、県全体で 44 名 (定点あたり 0.76 → 0.81 人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。過去 10 年の同時期と比べて最も多い状態で推移しています。美作地域では、定点あたり報告数が 3 人を越えたため、発生レベル 3 になりました。咽頭結膜熱について、詳しくは『今週の注目感染症』をご覧ください。
3. [ヘルパンギーナ](#)は、県全体で 38 名 (定点あたり 0.56 → 0.70 人) の報告があり、3 週連続で増加しました。地域別では、備中地域 (1.29 人)、真庭地域 (1.00 人)、倉敷市 (0.73 人) の順で報告数が多くなっています。ヘルパンギーナは、夏に発生する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表疾患です。例年、6 月頃から急激に発生報告数が増加し、7 月頃にピークを迎えます。患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い、手指の消毒を励行するなど、感染予防に努めましょう。
4. [感染性胃腸炎](#)は、県全体で 295 名 (定点あたり 6.50 → 5.46 人) の報告があり、前週より減少しました。県内の発生状況など詳しくは「[感染性胃腸炎情報](#)」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡	★	RSウイルス感染症	⬆	★★
咽頭結膜熱	➡	★★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	★★
感染性胃腸炎	⬆	★★	水痘	➡	★★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	➡	
突発性発疹	⬆	★	百日咳	⬆	
ヘルパンギーナ	⬆	★	流行性耳下腺炎	➡	★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	⬆	★
細菌性髄膜炎	⬆	★	無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	➡		クラミジア肺炎	➡	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡				

【記号の説明】 前週からの推移: :2倍以上の減少 :1.1~2倍未満の減少 :1.1未満の増減
 :1.1~2倍未満の増加 :2倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし ★:僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い
 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成25年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

今週の注目感染症

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、結膜炎を主症状とする小児の急性感染症で、アデノウイルスを原因とします。

【主な感染経路】

感染経路は主に接触感染、飛沫感染ですが、その感染力は強力で、タオル、ドアノブ、エレベーターのボタン、階段の手すり等の患者が触れたものを介しても感染する場合があります。通常夏季を中心に流行する疾患で、プールでの感染も多く見られることから、プール熱とも呼ばれます。患者の年齢は5歳以下が約6割を占めています。

【症 状】

通常5~7日の潜伏期間を経て発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎によるのどの痛み、結膜炎にともなう結膜充血、眼痛、目やになどの症状がみられ、症状は3~5日程度持続した後、回復します。特異的な治療法はなく、治療は対症療法が中心となります。眼症状が強い場合には、眼科的治療が必要となることもあります。

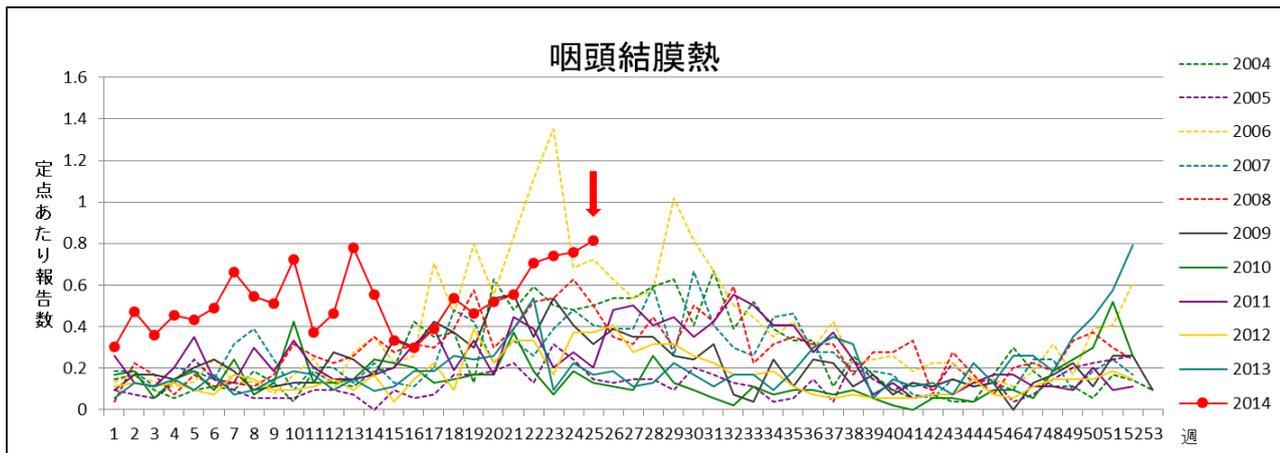
【予 防】

予防法は、感染者との接触を避けること、流行時にうがいや手洗い、手指の消毒を実施することなどです。消毒法として、手指に対しては流水と石けんによる手洗い、器具に対しては煮沸や次亜塩素酸ナトリウムを用います。

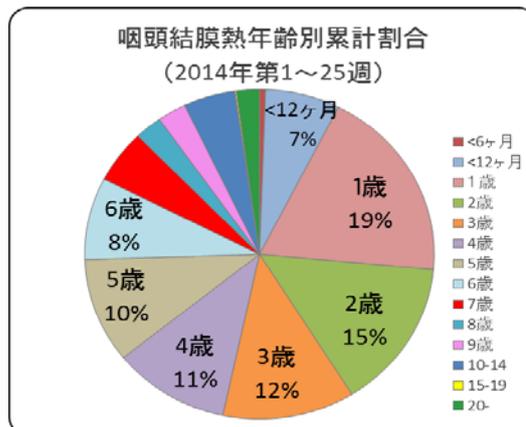
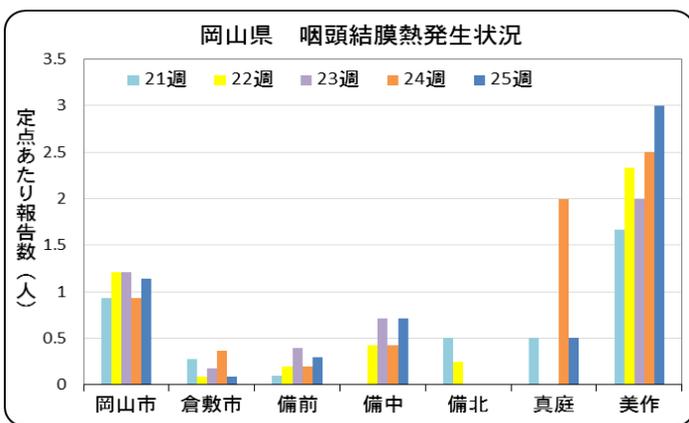
([国立感染症研究所 IDWR 2012 年第 25 週<注目すべき感染症> 咽頭結膜熱](#))

[咽頭結膜熱とは \(国立感染症研究所 感染症の話\)](#)

【岡山県の発生状況】



咽頭結膜熱は、第25週には県全体で44人（定点あたり0.76→0.81人）の報告がありました。過去10年間の同時期に比べて患者数が最も多い状態で推移しています。地域別では、美作地域（3.00人）、岡山市（1.14人）、備中地域（0.71人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。美作地域で定点あたり報告数が3人を越えたため、発生レベル3になりました。2014年の年齢別累計では、1歳19%、2歳15%、3歳12%の順で多く報告されており、0歳～5歳の乳幼児が75%を占めています。



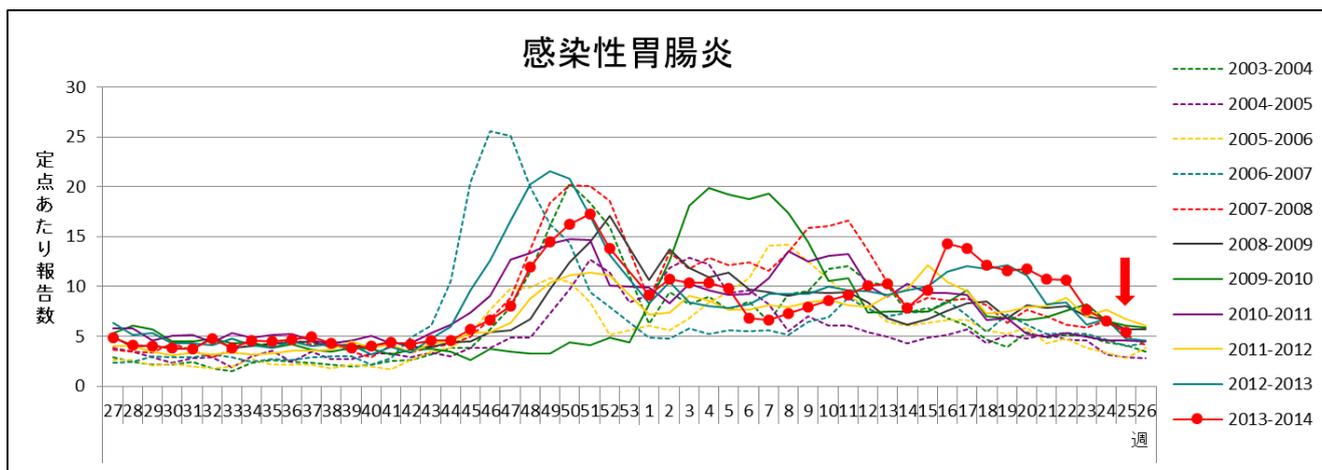
全国の第24週発生状況は、定点あたり0.82人で、富山県（1.76人）、福井県（1.45人）、石川県（1.38人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

岡山県内の2014年患者報告数は、年当初から高いレベルで推移しています。流行シーズンである夏季に向けて、発生状況に注意するとともに、患者との接触を避け、流行時にはうがい手洗い、手指の消毒を励行するなど、感染予防に努めましょう。

[国立感染症研究所 IDWR 速報データ 2014年24週速報データ](#)

感染性胃腸炎情報 2014 年 第 25 週 (6 月 16 日 ~ 6 月 22 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 295 名（定点あたり 6.50 → 5.46 人）の発生がありました（54 定点医療機関報告）。



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で 295 名（定点あたり 6.50 → 5.46 人）の発生があり、前週より減少しました。

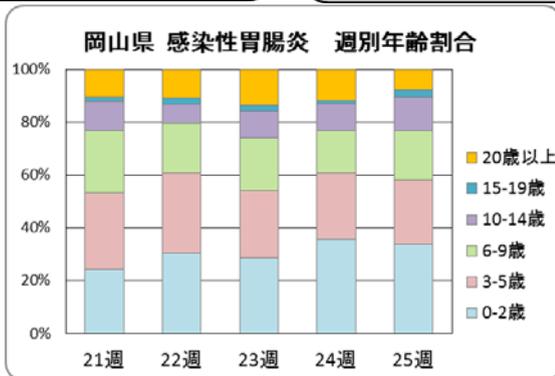
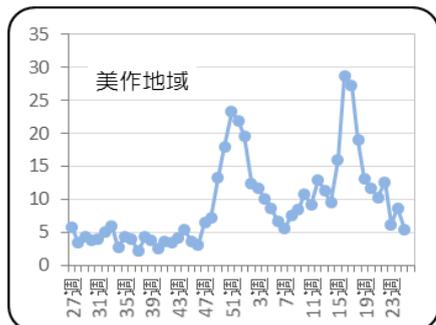
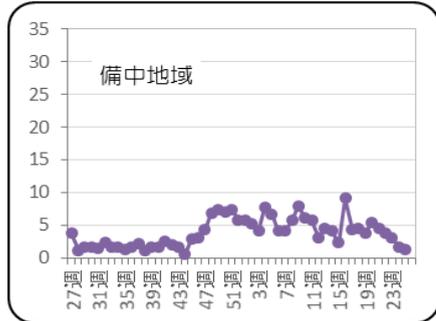
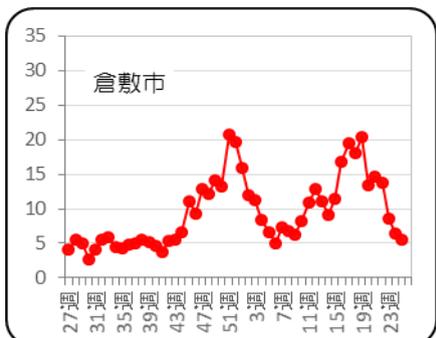
例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。岡山県では「食中毒注意報」が発令されています。トイレの後、食事や調理の前には、石けんと流水で念入りに手を洗うなど、感染予防に努めてください。

[食中毒に関する情報（厚生労働省）](#)

[食中毒注意報を発令しました！（岡山県）](#)

◆地域別・年齢別発生状況

地域別では、岡山市（7.93 人）、備北地域（7.00 人）、倉敷市（5.55 人）の順で定点あたり報告数が多くなりました。年齢別割合では、5 歳以下の乳幼児が全体の 58% を占めています。



保健所別報告患者数 2014年 25週 (2014/06/16～2014/06/22)

2014年6月25日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	1	0.01	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	44	0.81	16	1.14	1	0.09	3	0.30	5	0.71	-	-	1	0.50	18	3.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	1.24	28	2.00	17	1.55	8	0.80	1	0.14	-	-	1	0.50	12	2.00
感染性胃腸炎	295	5.46	111	7.93	61	5.55	49	4.90	9	1.29	28	7.00	5	2.50	32	5.33
水痘	64	1.19	24	1.71	5	0.45	8	0.80	16	2.29	2	0.50	-	-	9	1.50
手足口病	4	0.07	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	33	0.61	10	0.71	11	1.00	5	0.50	2	0.29	1	0.25	-	-	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	38	0.70	9	0.64	8	0.73	4	0.40	9	1.29	2	0.50	2	1.00	4	0.67
流行性耳下腺炎	12	0.22	6	0.43	2	0.18	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	-	-	1	0.25	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	2	0.40	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 25週 (2014/06/16～2014/06/22)

2014年6月25日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	1	0.01	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	44	0.81	16	1.14	1	0.09	3	0.30	5	0.71	-	-	1	0.50	18	3.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	1.24	28	2.00	17	1.55	8	0.80	1	0.14	-	-	1	0.50	12	2.00
感染性胃腸炎	295	5.46	111	7.93	61	5.55	49	4.90	9	1.29	28	7.00	5	2.50	32	5.33
水痘	64	1.19	24	1.71	5	0.45	8	0.80	16	2.29	2	0.50	-	-	9	1.50
手足口病	4	0.07	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	38	0.70	9	0.64	8	0.73	4	0.40	9	1.29	2	0.50	2	1.00	4	0.67
流行性耳下腺炎	12	0.22	6	0.43	2	0.18	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	-	-	1	0.25	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-

黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第25週 2014/06/16～2014/06/22)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

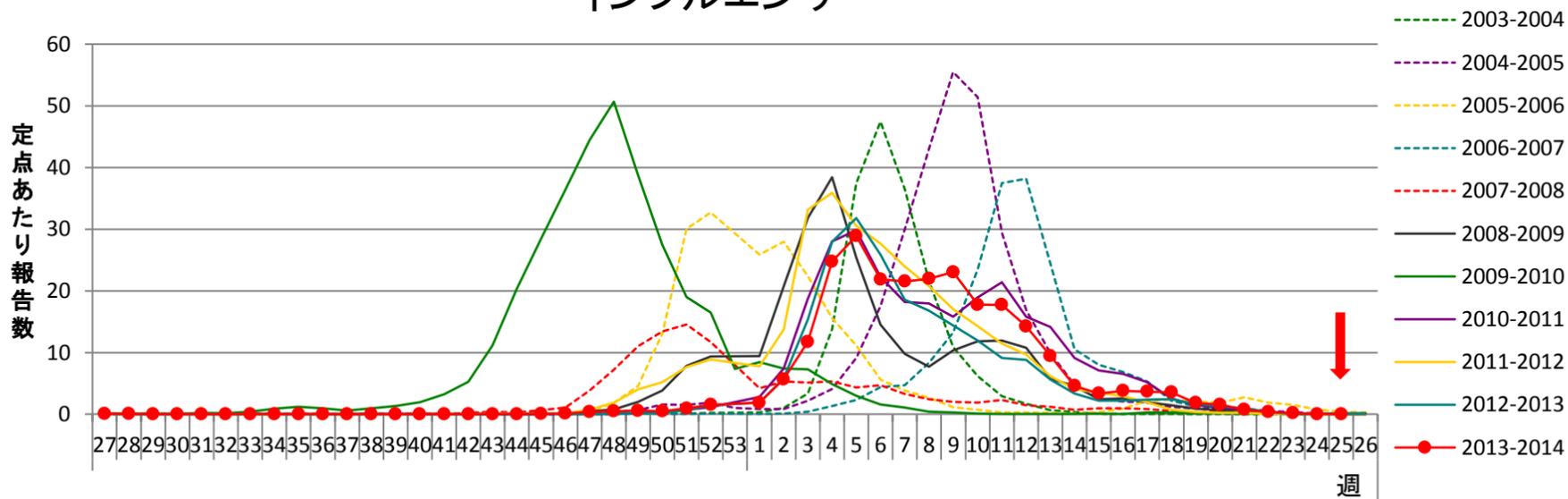
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	44	-	3	12	8	1	3	6	3	2	1	2	3	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	-	-	1	6	5	11	5	7	11	3	4	12	-
感染性胃腸炎	295	6	29	38	27	23	26	22	18	15	14	9	37	8
水痘	64	2	2	6	13	8	10	7	5	5	3	-	3	-
手足口病	4	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	33	-	20	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	38	1	5	9	8	5	2	1	2	3	1	1	-	
流行性耳下腺炎	12	-	-	2	1	1	1	2	3	1	-	-	1	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-

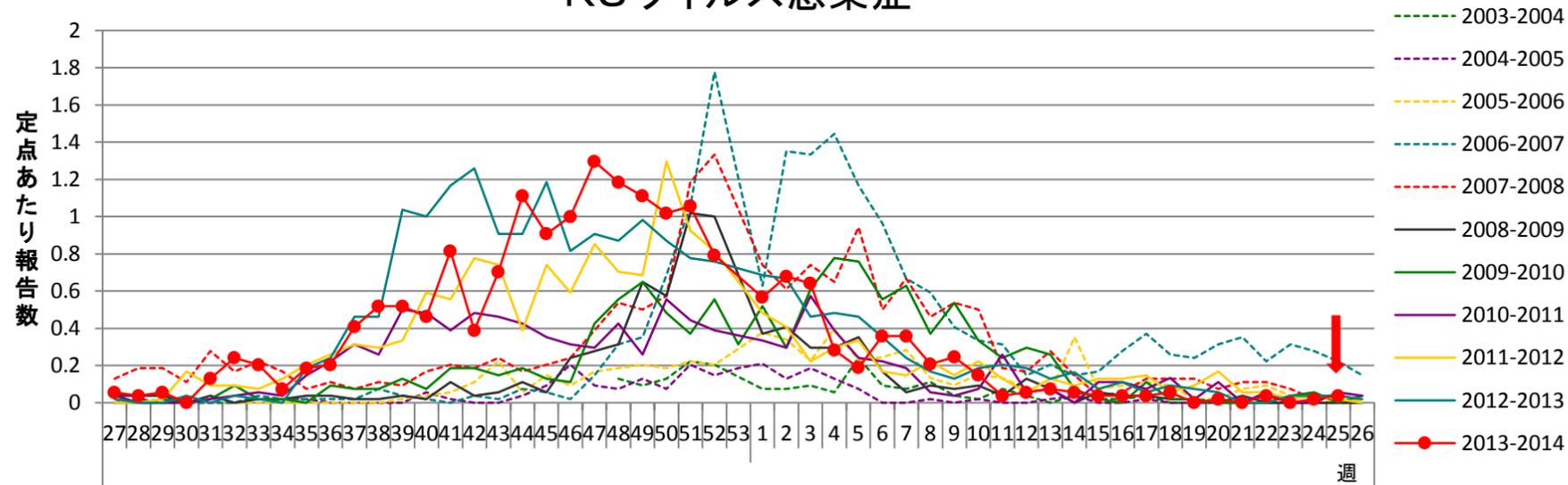
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

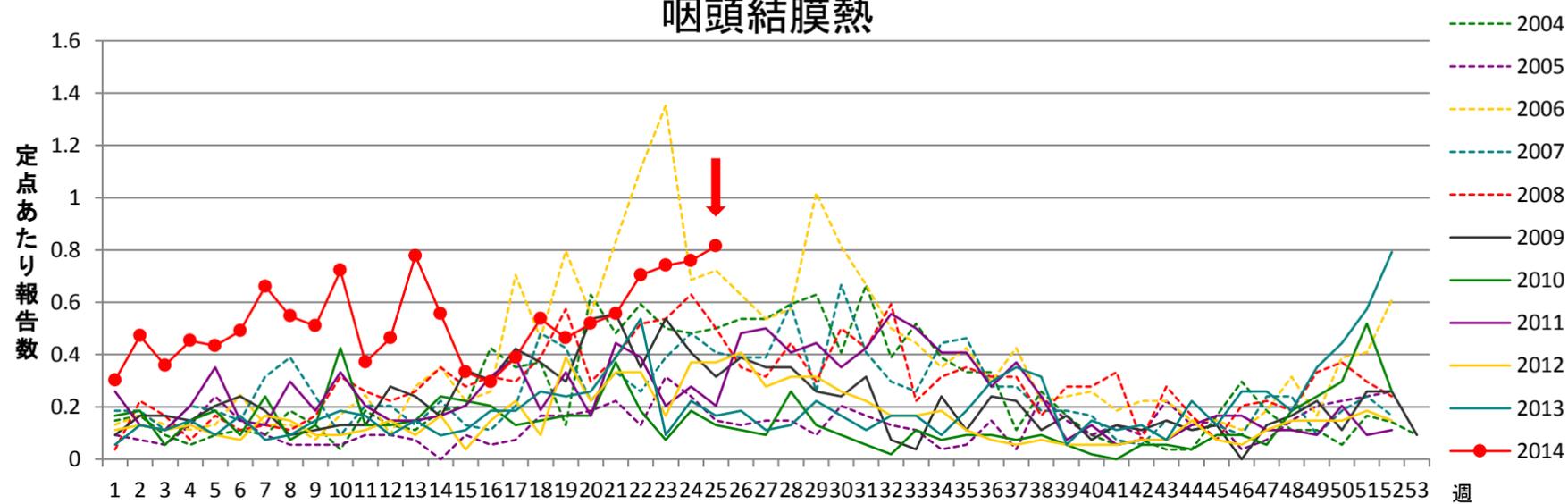
インフルエンザ



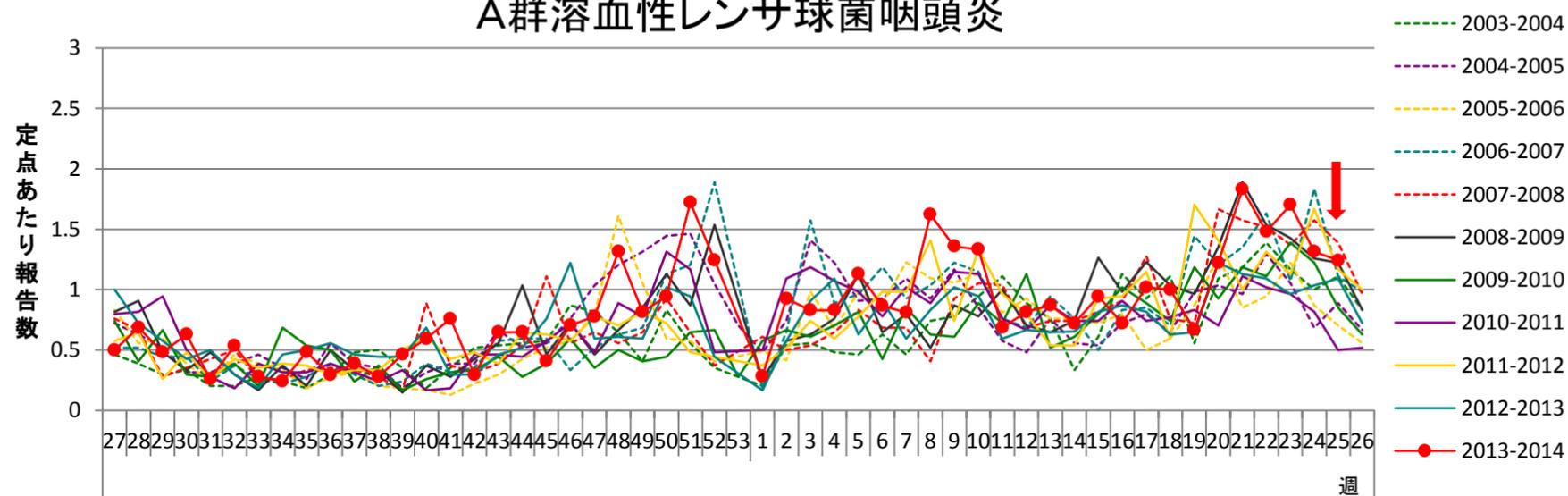
RSウイルス感染症



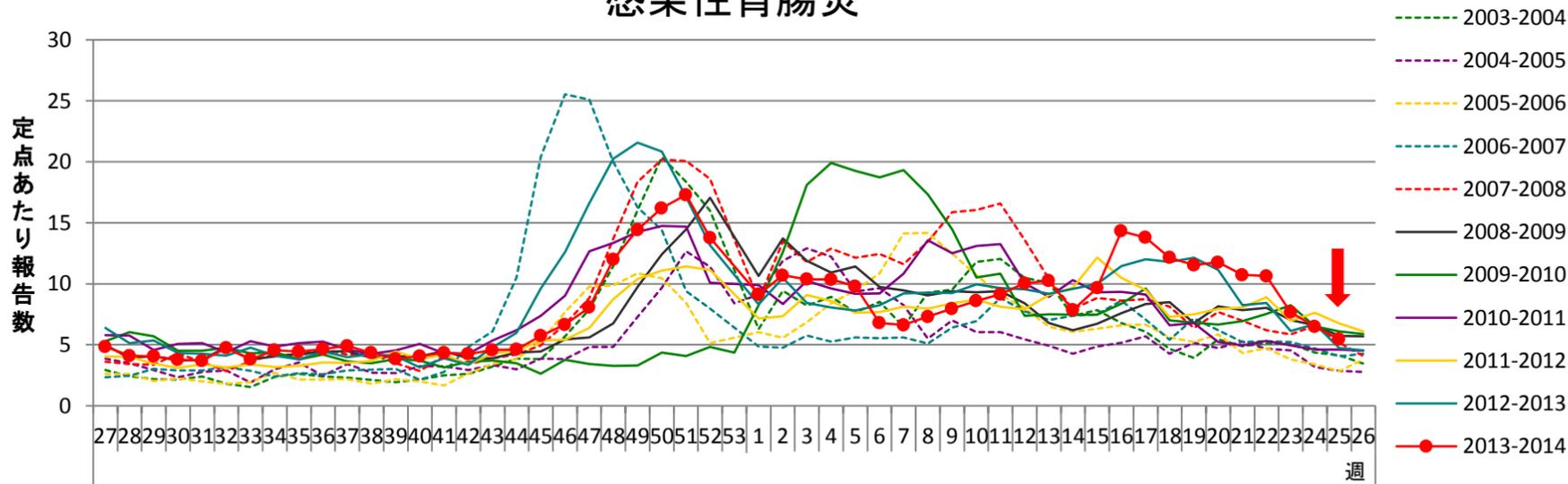
咽頭結膜熱



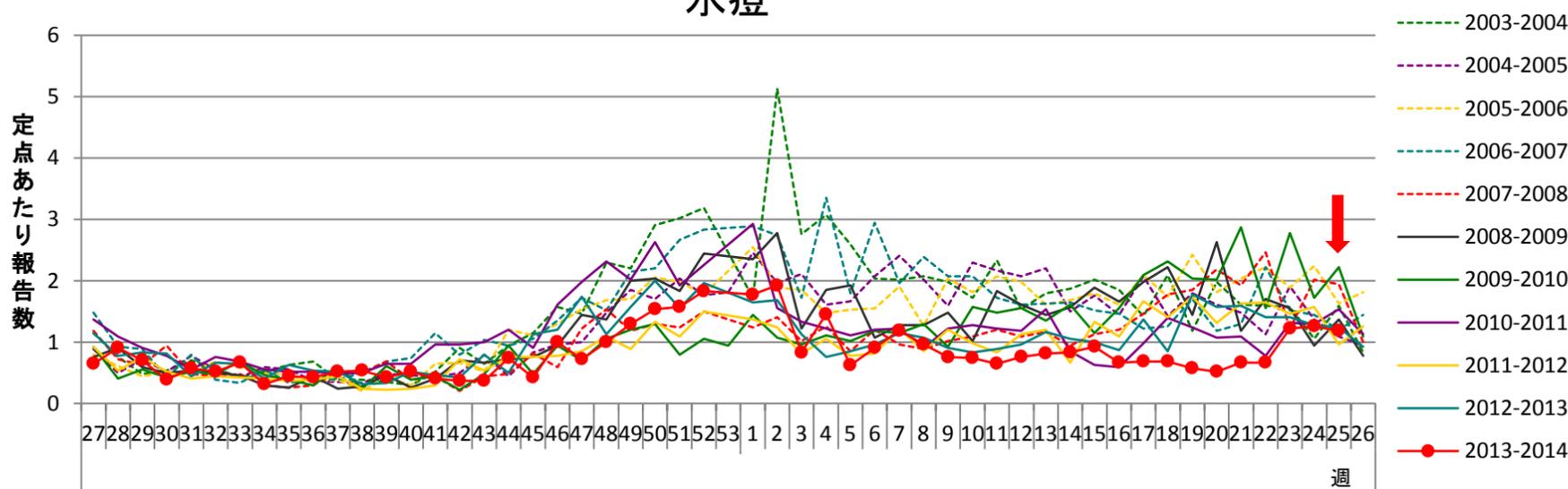
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



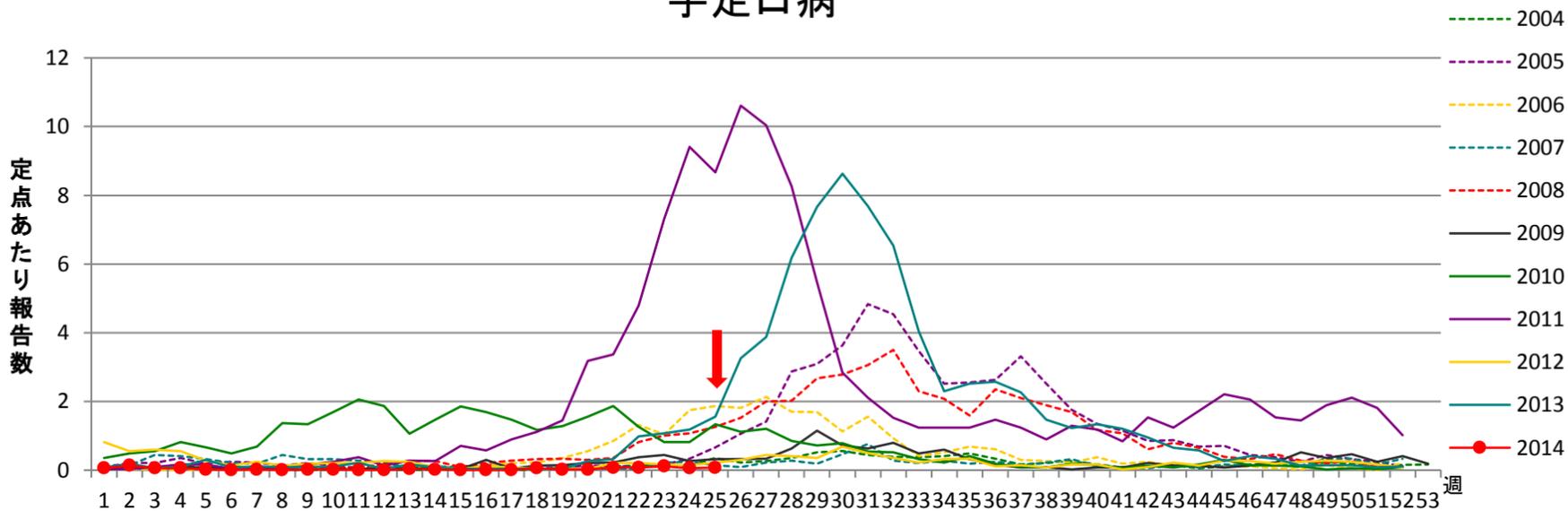
感染性胃腸炎



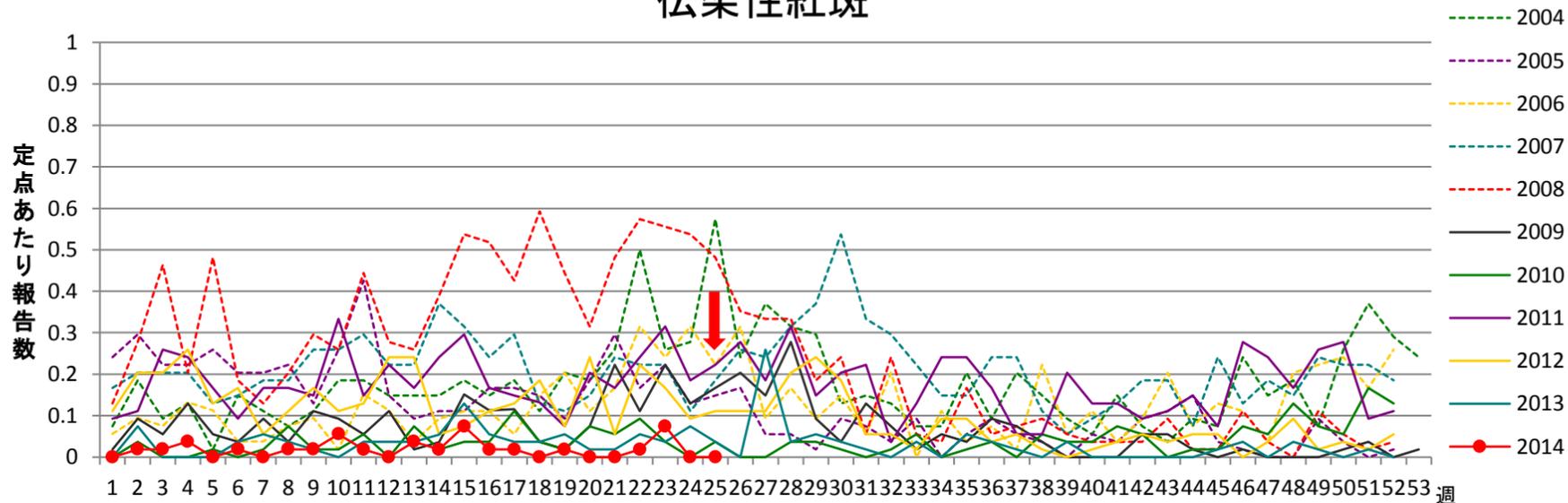
水痘



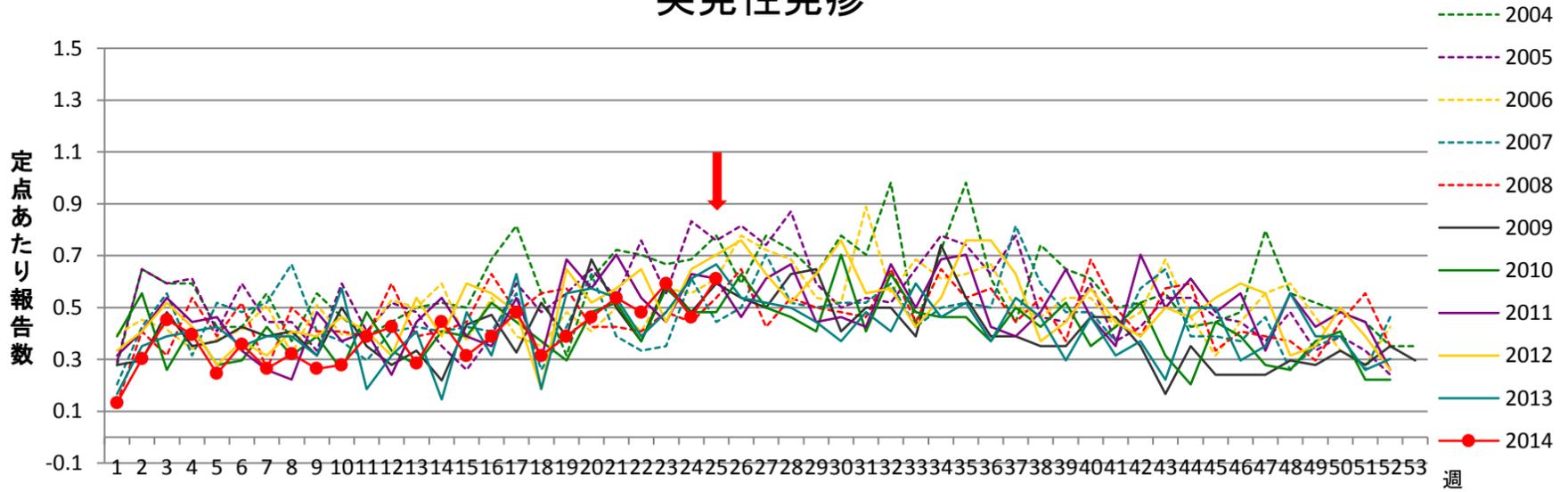
手足口病



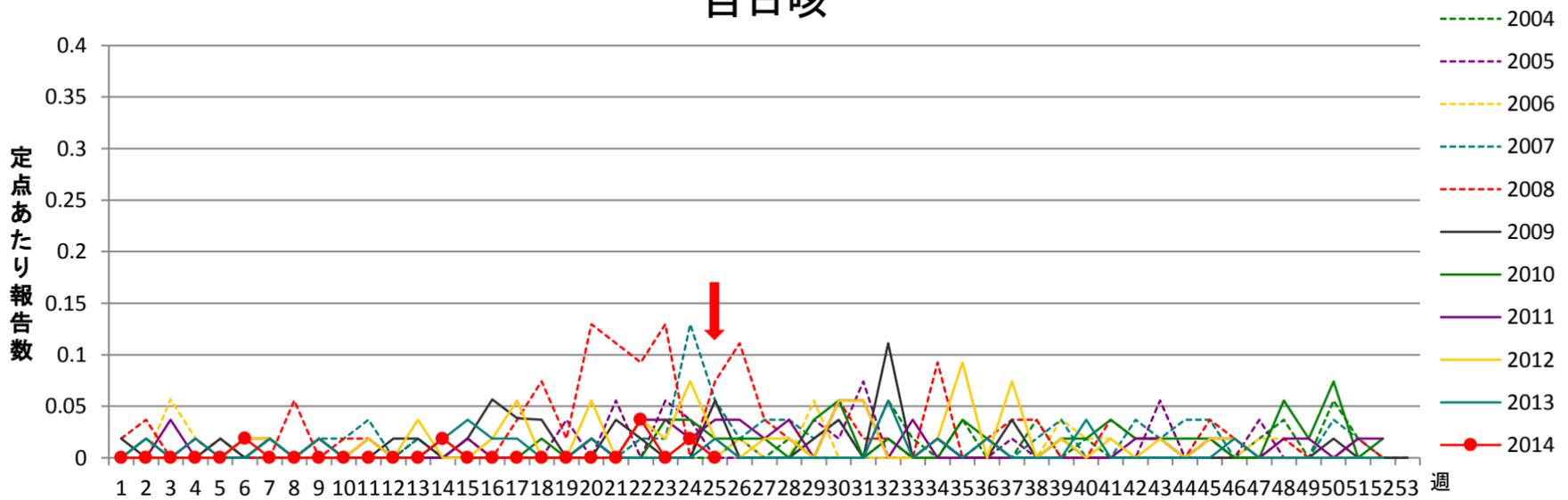
伝染性紅斑



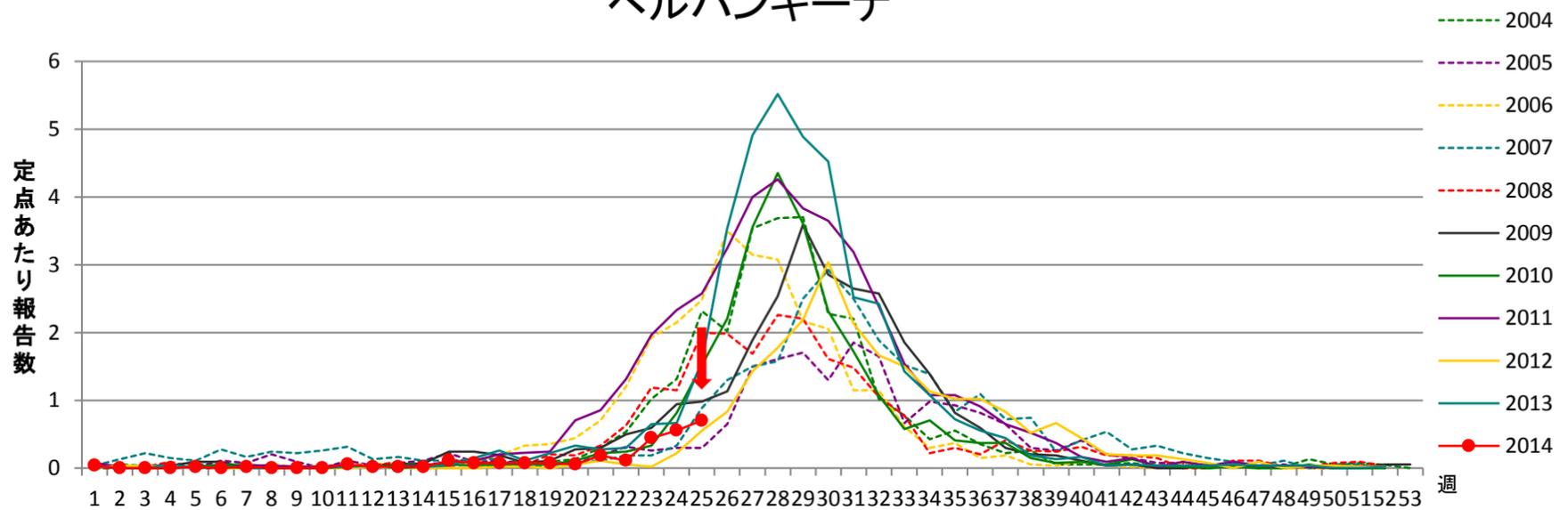
突発性発疹



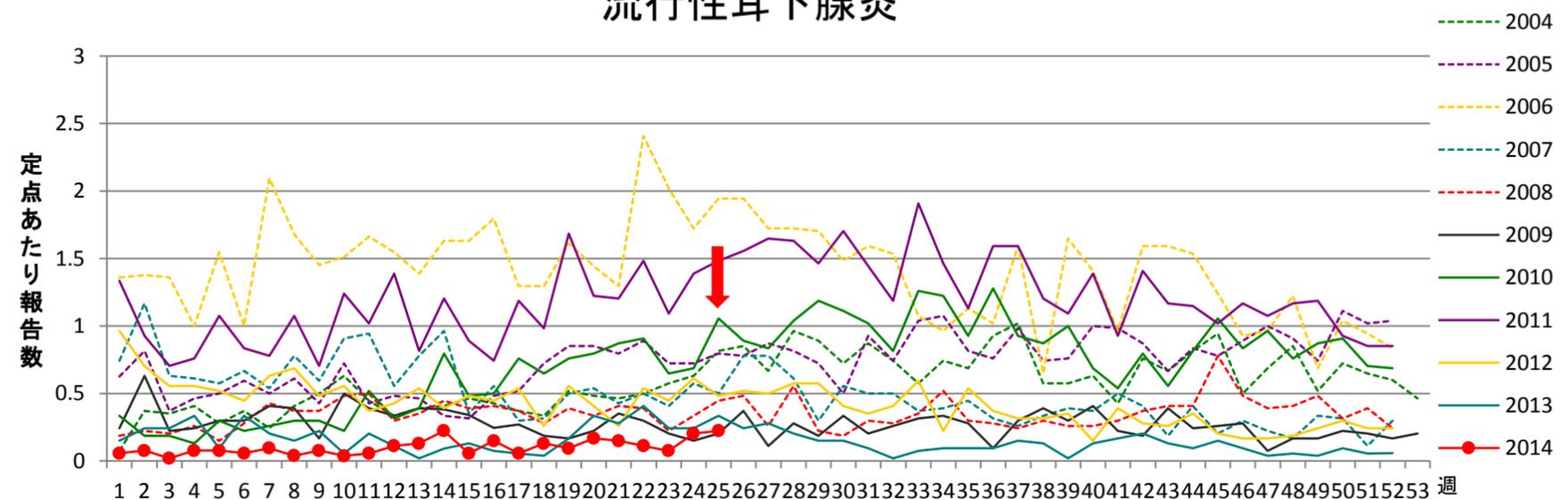
百日咳



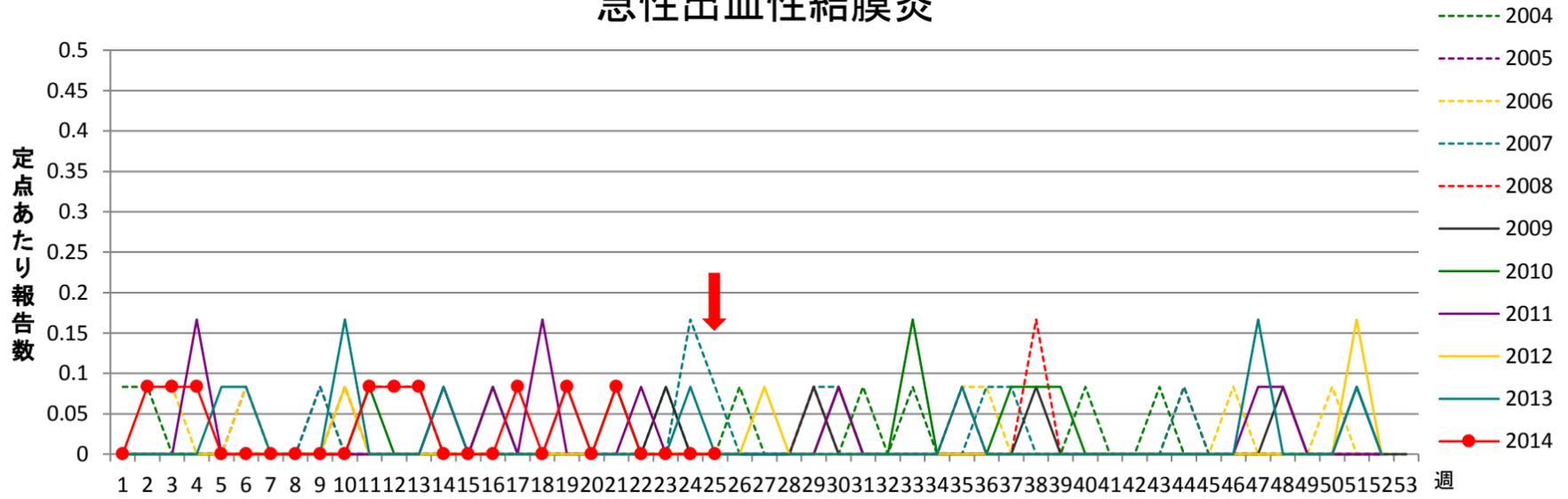
ヘルパンギーナ



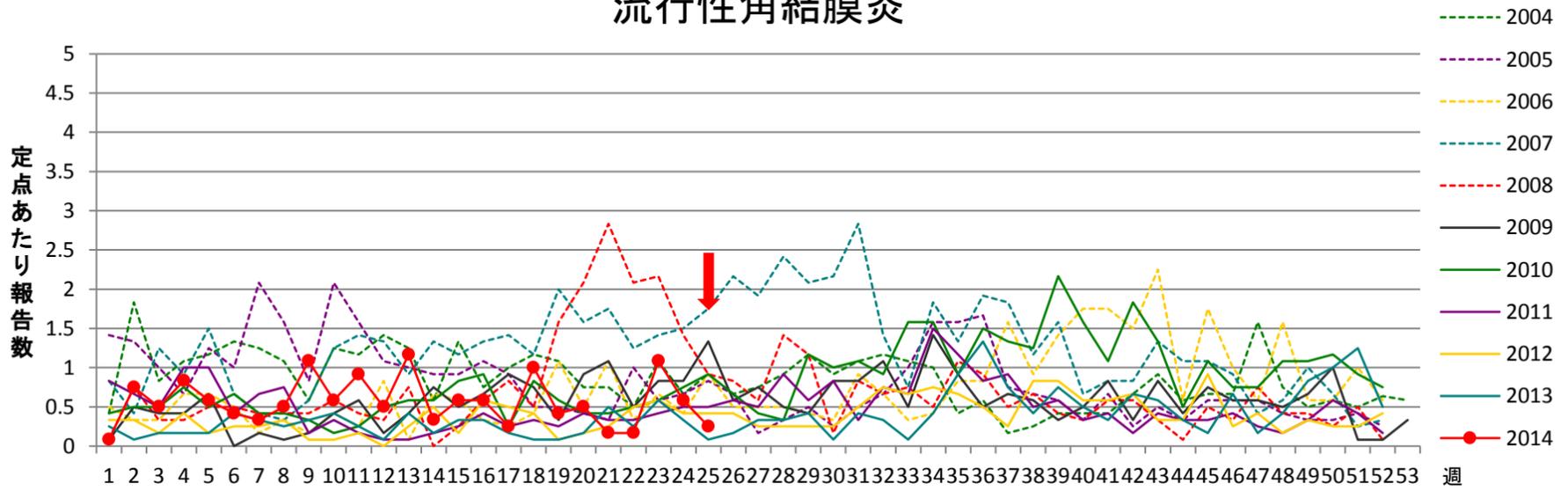
流行性耳下腺炎



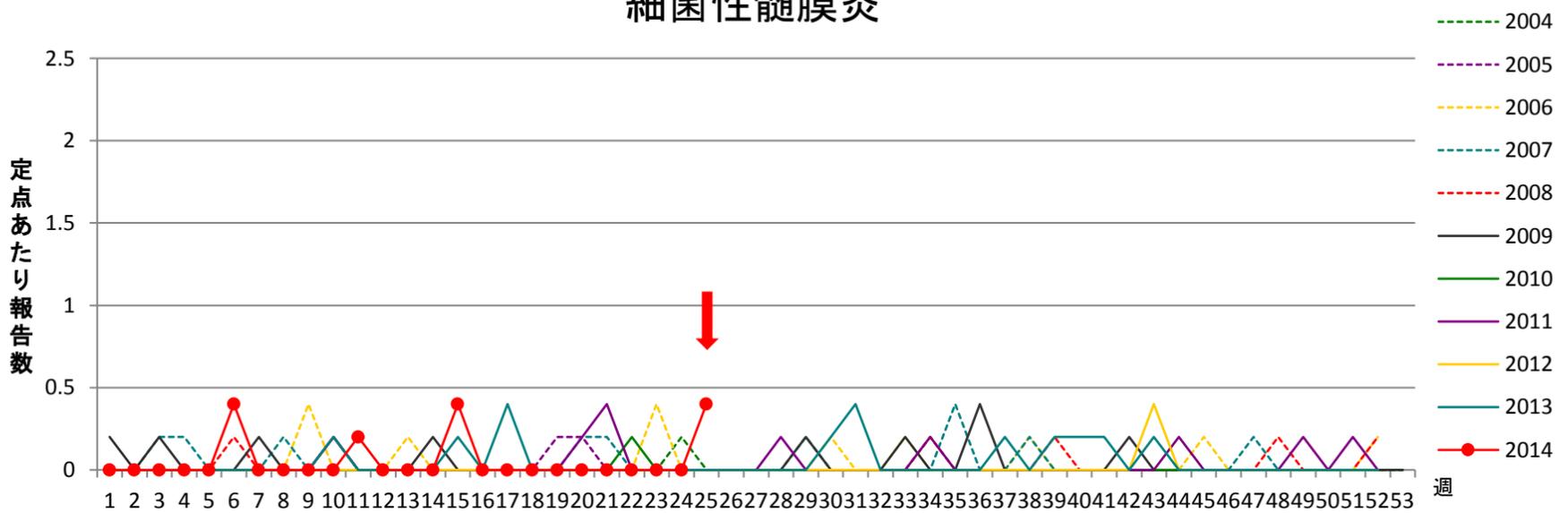
急性出血性結膜炎



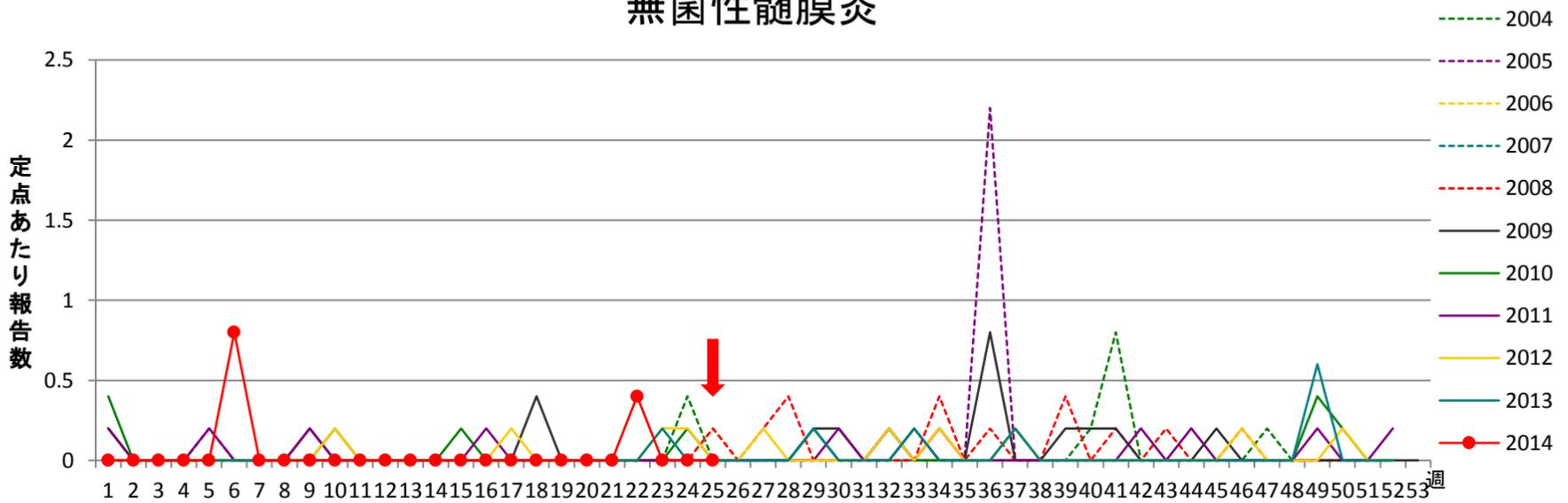
流行性角結膜炎



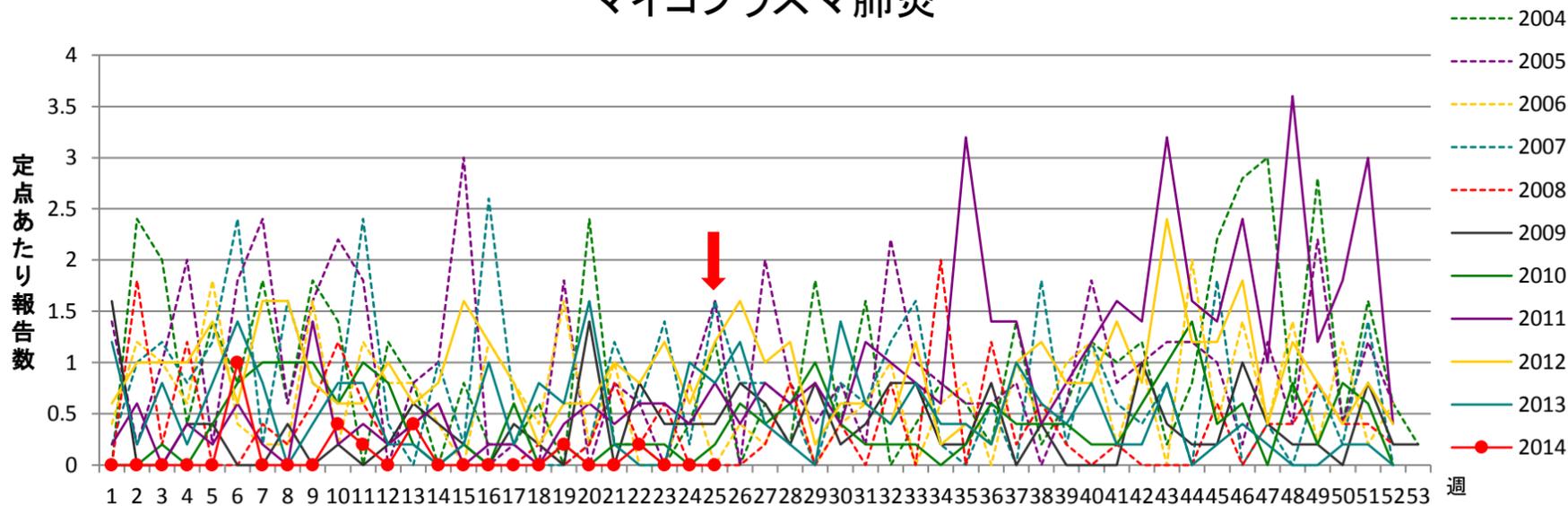
細菌性髄膜炎



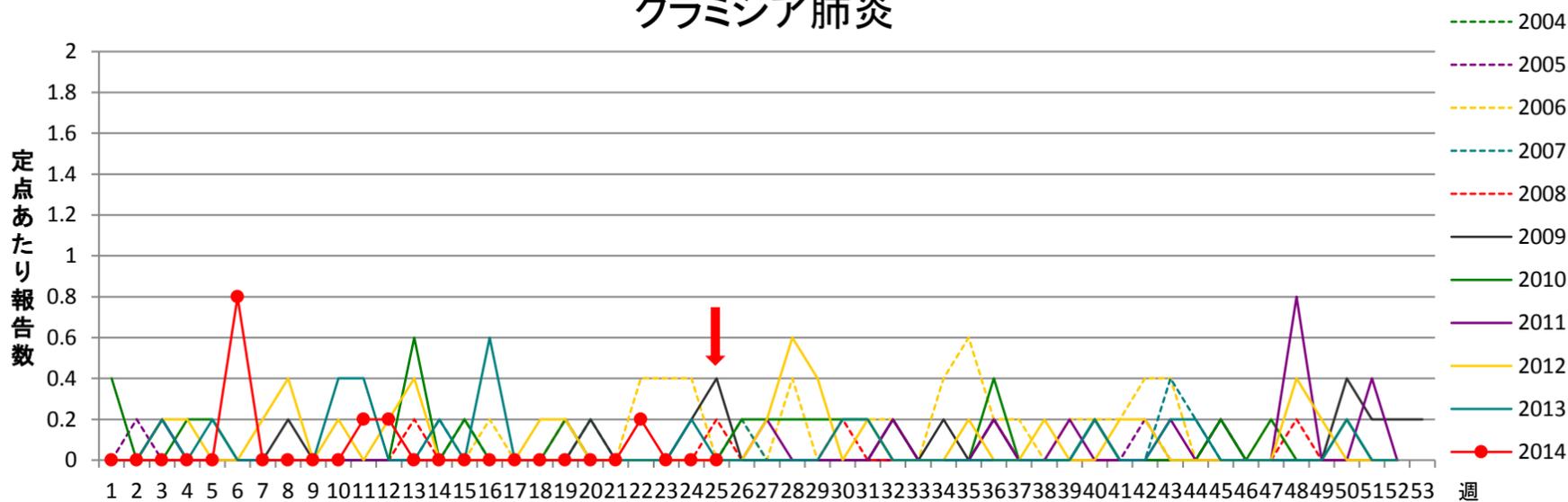
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

